

## 企画委員会 論点メモ

## 1 地域創生に取り組む兵庫が目指すべき方向性

- ・ 2060年までを見据え、次の5年間で兵庫県として果たすべき役割や目指すべき方向性
- ・ 活かすべき兵庫の強み、取組を進めるに当たっての弱み

強みの例…日本の縮図と言われる地域の多様性、大都市と多自然地域との近接性、道路・空港・港湾等の交通基盤の充実、科学技術基盤の集積 等  
弱みの例…兵庫としての統一的なイメージを持ちにくい、大卒者が希望する職種の採用がない（本社機能の集積がない） 等

## 2 各地域別の役割とは

- ・ 各地域が目指すべき姿
- ・ 兵庫県の多様な地域性を活かす地域区分
- ・ 定住・環流の希望を叶えるための拠点づくり
- ・ 現行戦略では、地域の元気づくりの戦略目標をGDP、GNIとしているが、他に地域の元気を表す目標が設定できるか

**【参考 分野別検討会（魅力あるまちづくり部会 7/23）で出たキーワード】  
（地域区分）**

- ・ 各地域の中心性を見だし、他の地域に波及させていくことが必要
- ・ 行政の区分ではなく、観光などテーマ性を持った地域区分を検討してはどうか
- ・ 地域の人々が一体感を感じられる地域区分がよい

**（若者定着・環流）**

- ・ 学生に新卒求人情報サイトに掲載されていない地方企業の情報が届いていない
- ・ 大企業から農業まで職業の選択肢が多いのが兵庫、東京に転出した人が戻ってこられるような場所をつくるべき
- ・ 若者が地域に残らないのは、面白い仕事がないからだ
- ・ 企業誘致も必要だが、地域にあるものでつくり、雇用をつくる顔の見えるローカル経済圏をつくり、エリアをブランド化すべき

**（次期戦略について）**

- ・ 行政と住民が一体となって考え、進めていくという姿勢をアピールすべき
- ・ 従来型のように、全ての地域の同じような施策を展開するのはだめだ